

四半期報告書

(第35期第3四半期)

自 平成26年7月1日

至 平成26年9月30日

株式会社ソルクシーズ

表紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

- | | |
|---------------|---|
| 1 主要な経営指標等の推移 | 1 |
| 2 事業の内容 | 1 |

第2 事業の状況

- | | |
|------------------------------|---|
| 1 事業等のリスク | 2 |
| 2 経営上の重要な契約等 | 2 |
| 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 | 2 |

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

- | | |
|-------------------------------|---|
| (1) 株式の総数等 | 3 |
| (2) 新株予約権等の状況 | 3 |
| (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 | 3 |
| (4) ライツプランの内容 | 3 |
| (5) 発行済株式総数、資本金等の推移 | 3 |
| (6) 大株主の状況 | 3 |
| (7) 議決権の状況 | 4 |

- | | |
|---------|---|
| 2 役員の状況 | 4 |
|---------|---|

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

- | | |
|------------------------------|---|
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| 四半期連結損益計算書 | 8 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 9 |

- | | |
|-------|----|
| 2 その他 | 12 |
|-------|----|

- | | |
|-------------------|----|
| 第二部 提出会社の保証会社等の情報 | 12 |
|-------------------|----|

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年11月14日
【四半期会計期間】	第35期第3四半期（自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日）
【会社名】	株式会社ソルクシーズ
【英訳名】	SOLXYZ Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 長尾 章
【本店の所在の場所】	東京都港区芝五丁目33番7号
【電話番号】	03-6722-5011
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 渡辺 源記
【最寄りの連絡場所】	東京都港区芝五丁目33番7号
【電話番号】	03-6722-5011
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 渡辺 源記
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第34期 第3四半期連結 累計期間	第35期 第3四半期連結 累計期間	第34期
会計期間	自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日	自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日
売上高 (千円)	6,964,261	7,682,245	9,656,929
経常利益 (千円)	291,713	426,623	459,060
四半期(当期)純利益 (千円)	171,985	223,007	269,797
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	194,042	162,253	583,051
純資産額 (千円)	2,423,382	2,925,815	2,812,303
総資産額 (千円)	6,568,404	7,339,318	7,263,134
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	16.04	20.80	25.17
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	—	20.64	—
自己資本比率 (%)	36.6	39.5	38.4

回次	第34期 第3四半期連結 会計期間	第35期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	0.51	8.11

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第34期第3四半期連結累計期間及び第34期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は発生しておりません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかな回復基調にありますが、消費税率引き上げの影響から、4月以降、消費・生産が落ち込んでおり、先行きの不透明感は増しております。一方、国内IT投資については、基本的な景気回復基調を受け、金融業界等における大規模開発が本格化しつつあり、IT業界全体の人材不足は深刻化しております。

このような環境の下、当第3四半期連結累計期間の売上高は、協会会社の活用等により開発リソースの確保・拡大に努め、前年同四半期比10.3%増の7,682百万円となりました。

セグメント別では、主業務であるソフトウェア開発事業の外部顧客への売上高は、当社において証券、クレジット等の金融業向けSI/受託開発業務が増収となったほか、子会社においても製造業向けSI/受託開発業務、大手自動車メーカー向けコンサルティング業務等が増収となり、同12.0%増の7,381百万円となりました。また、デジタルサイネージ事業の外部顧客への売上高は同19.7%減の300百万円となりました。

損益面では、利益率の高い金融業向け及び製造業向けのSI/受託開発業務等の好調により、営業利益は同70.7%増の393百万円、経常利益は同46.2%増の426百万円と大幅増益となり、法人税等201百万円を控除した四半期純利益は同29.7%増の223百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、ソフトウェアや投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ1.0%増加し、7,339百万円となりました。

負債は、季節要因による買掛金及び未払法人税等の減少により、前連結会計年度末に比べ0.8%減少し、4,413百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ4.0%増加し、2,925百万円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	19,600,000
計	19,600,000

②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	13,410,297	13,410,297	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100 株であります。
計	13,410,297	13,410,297	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年7月1日～ 平成26年9月30日	-	13,410,297	-	1,494,500	-	451,280

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 2,690,700	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 10,660,300	106,603	—
単元未満株式	普通株式 59,297	—	—
発行済株式総数	13,410,297	—	—
総株主の議決権	—	106,603	—

② 【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
株式会社ソルクシーズ	東京都港区芝5-33-7	2,690,700	—	2,690,700	20.06
計	—	2,690,700	—	2,690,700	20.06

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,585,956	1,480,222
受取手形及び売掛金	1,716,627	1,644,898
有価証券	481,126	481,298
商品及び製品	48,677	49,074
仕掛品	199,044	241,418
原材料及び貯蔵品	2,684	2,919
その他	154,957	170,276
貸倒引当金	△757	△526
流動資産合計	4,188,317	4,069,582
固定資産		
有形固定資産	562,181	561,174
無形固定資産		
のれん	5,291	1,416
その他	449,222	544,577
無形固定資産合計	454,514	545,994
投資その他の資産		
投資有価証券	1,385,850	1,451,777
繰延税金資産	383,326	421,486
その他	288,275	289,353
貸倒引当金	△990	△546
投資その他の資産合計	2,056,462	2,162,071
固定資産合計	3,073,158	3,269,240
繰延資産	1,658	495
資産合計	7,263,134	7,339,318

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	545,049	395,152
短期借入金	792,000	791,800
1年内償還予定の社債	50,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	560,364	578,364
未払法人税等	236,546	57,845
賞与引当金	—	170,506
その他	555,207	480,525
流動負債合計	2,739,167	2,494,193
固定負債		
社債	20,000	—
長期借入金	412,036	546,538
退職給付引当金	1,125,461	1,210,169
役員退職慰労引当金	132,184	146,372
その他	21,981	16,230
固定負債合計	1,711,663	1,919,309
負債合計	4,450,830	4,413,502
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,494,500	1,494,500
資本剰余金	1,468,229	1,468,229
利益剰余金	504,494	673,901
自己株式	△1,002,715	△1,003,029
株主資本合計	2,464,507	2,633,600
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	301,393	238,060
為替換算調整勘定	25,583	26,295
その他の包括利益累計額合計	326,976	264,355
新株予約権	—	6,451
少数株主持分	20,819	21,407
純資産合計	2,812,303	2,925,815
負債純資産合計	7,263,134	7,339,318

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	6,964,261	7,682,245
売上原価	5,625,051	6,143,456
売上総利益	1,339,209	1,538,788
販売費及び一般管理費		
役員報酬	220,064	235,581
給料	345,731	380,908
賞与	33,825	28,585
賞与引当金繰入額	18,144	20,194
役員退職慰労引当金繰入額	13,994	14,188
退職給付費用	24,302	24,359
法定福利費	66,331	72,244
地代家賃	71,938	68,258
支払手数料	66,341	66,496
のれん償却額	6,280	3,870
その他	241,862	230,746
販売費及び一般管理費合計	1,108,818	1,145,434
営業利益	230,390	393,353
営業外収益		
受取利息	10,253	8,411
受取配当金	2,913	2,688
デリバティブ評価益	62,390	63,320
投資事業組合運用益	1,881	—
負ののれん償却額	116	—
その他	9,926	3,651
営業外収益合計	87,480	78,071
営業外費用		
支払利息	15,174	14,563
投資事業組合運用損	—	27,863
為替差損	8,324	654
その他	2,659	1,720
営業外費用合計	26,158	44,801
経常利益	291,713	426,623
特別利益		
固定資産売却益	—	13
特別利益合計	—	13
特別損失		
固定資産除却損	1,050	394
固定資産売却損	403	—
特別損失合計	1,453	394
税金等調整前四半期純利益	290,260	426,242
法人税、住民税及び事業税	166,531	189,834
法人税等調整額	△50,226	11,563
法人税等合計	116,305	201,397
少数株主損益調整前四半期純利益	173,954	224,844
少数株主利益	1,969	1,836
四半期純利益	171,985	223,007

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	173,954	224,844
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,578	△63,332
為替換算調整勘定	10,508	741
その他の包括利益合計	20,087	△62,591
四半期包括利益	194,042	162,253
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	191,652	160,387
少数株主に係る四半期包括利益	2,389	1,866

【注記事項】

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
減価償却費	148,940千円	128,534千円
のれんの償却額	6,280千円	3,870千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間（自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日）

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月28日 定時株主総会	普通株式	53,602	5.0	平成24年12月31日	平成25年3月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日）

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年3月27日 定時株主総会	普通株式	53,600	5.0	平成25年12月31日	平成26年3月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ソフトウェア 開発事業	デジタルサイネ ージ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,590,056	374,204	6,964,261	—	6,964,261
セグメント間の内部売上高又は振替高	153	—	153	△153	—
計	6,590,209	374,204	6,964,414	△153	6,964,261
セグメント利益又は損失(△)	271,534	△41,297	230,237	153	230,390

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去153千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ソフトウェア 開発事業	デジタルサイネ ージ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,381,799	300,446	7,682,245	—	7,682,245
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,152	1,398	4,551	△4,551	—
計	7,384,951	301,844	7,686,796	△4,551	7,682,245
セグメント利益又は損失(△)	429,873	△41,071	388,802	4,551	393,353

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去4,551千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 1 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成26年 1 月 1 日 至 平成26年 9 月 30 日)
(1) 1 株当たり四半期純利益金額	16円4銭	20円80銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	171,985	223,007
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	171,985	223,007
普通株式の期中平均株式数 (株)	10,720,405	10,719,792
(2) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額	—	20円64銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数 (株)	—	84,795
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 前第 3 四半期連結累計期間の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月14日

株式会社ソルクシーズ

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 毛利 篤 雄 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 寶 野 裕 昭 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ソルクシーズの平成26年1月1日から平成26年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ソルクシーズ及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。